

事務局からの連絡事項

2008年5月15日（木）
（財）日本アンチ・ドーピング機構事務局

浅川 伸

連絡事項①

〔分析報告書の送付先の変更〕

- 三菱メディエンス（MCM）から送付される分析結果報告書の送付先をJADA事務局に一本化します。

【現状】

- JADA事務局
- NF指定担当者

【6月1日以降】

- JADA事務局のみ

- 日本ドーピング防止規程（第7.1条、第7.2条、第7.3条）に準拠した分析結果の報告先へと変更。
- 最終的に陰性となった事例において、MCMから“Report pending”という中間報告を受けた競技団体内で混乱が生じた事例が複数件あり。取扱い手順改善の必要あり。

連絡事項① つづき

〔競技団体の検査結果確認方法〕

- ADAMS経由での検査結果確認。
 - 分析結果受領後、3営業日程度で反映。
 - NFアカウントの仕様変更(機能強化)に伴い、5月末迄に、NFアカウント再発行予定。
- ADAMSを利用することのメリット
 - 競技団体内登録録競技者のサマリー作成
 - 検査結果
 - 居場所情報提出状況
 - TUE
 - 履歴管理 (database)

連絡事項②

〔結果管理組織の確認〕

- ADAMSに公式記録書、分析結果を入力する際に、結果管理組織(result management authority)を正確に反映させることが必要。
- 正確に反映されていない場合、然るべき組織(国際競技連盟等)からの閲覧が出来なくなる。
※現状、ADAMSを使用していないIFが、将来使用開始した場合に、過去の履歴の閲覧に問題が生じる。
- 予定されている国際競技会の結果管理組織(result management authority)の調査を行います。ご協力をお願いいたします。

連絡事項② つづき 〔結果管理組織の確認〕

- 三菱メディエンス (MCM) から、国際競技連盟 (IF) の通知先の確認が都度なされるため、必要に応じて、NF事務局に確認を行います。
- 最新のIF担当者連絡先を常に把握しておいてください。

連絡事項③

〔分析結果の速報対応〕

- 国際競技会等で、至急分析が必要となる場合、三菱メディエンス（MCM）に対して、至急分析対応を事前に打診する必要あり。
- MCMの希望では、競技会の3か月前に対応の可否についての打診を欲しいとのこと。
- 至急分析においては、3交替のシフト勤務態勢を取ることから、分析料が割増となる。

【通常】

¥28,500（税別）

【至急】

¥45,000（税別）

- 通常：検体受領日から10営業日以内の報告
- 至急：検体受領日から2日以内の報告